

【次第（予定）】

1. 大臣官房 参事官（イノベーション）グループ 施工企画室長より挨拶【国土交通省】
2. 本取り組みの概要説明【国土交通省】
 - 国土交通省より本取り組みの背景、目標、進捗状況の共有
3. ピッチセッション【プレゼンター】
 - 参加者との情報共有や議論のきっかけを提供することを目的に、自社の技術やアイデアを発表
 - 異業種連携の可能性を模索するため、河川ポンプ設備メーカー、AI ソフトウェア開発企業より自社の技術や、河川ポンプ設備に係るニーズ・課題を発表
4. ネットワーキングセッション【全参加者】
 - 参加者同士が自由に質疑応答し、異業種連携の可能性を探るセッション
 - ピッチセッションで気になった提案や、参加者自身のアイデアについて意見交換

想定するピッチ内容（1社あたり約5～10分程度を予定）

- 河川ポンプ設備メーカーからの発表：
河川ポンプ設備の特性、特性を踏まえた傾向管理についての現状、日常の保守管理において生じている主な課題や現場の悩み
また、可能であれば、維持管理の効率化・高度化に向けた取り組み（例：モニタリングを行うためにセンサー技術等を導入した事例など）、AI 技術の活用に向けた課題やニーズ
- AI ソフトウェア開発企業からの発表：
非常用設備（排水ポンプ設備等）や類似設備の多様なデータを活用した故障予兆検知や寿命予測 AI のアルゴリズム開発事例や保有技術

【参加のメリット】

- ・ AI を活用した河川ポンプ設備管理の制度設計・研究開発体制への参画可能性
- ・ 異業種連携を通じた新たなビジネスチャンスの創出
- ・ 公共インフラの管理効率化・高度化に寄与する社会貢献の実現

【お申し込み方法】

以下の申し込みフォームより必要事項をご記入の上、お申し込みください。

本イベントのピッチプレゼンセッションにプレゼンターとして参加を希望される方は、申込ページの希望参加形態項目にて「プレゼンター」を選択の上、貴社・貴団体の主な製品やサービス・技術、プレゼンを希望する内容について簡潔に記載いただき、ご応募ください。自社の強みを活かし、異業種連携の可能性を広げるプレゼンをぜひご提案いただきたく、プレゼンターとしてのご参加をぜひお待ちしております。

なお、「一般参加」とご回答頂いた企業・団体についても、本イベントでのプレゼンターとしてふさわしい技術を有している場合には、個別にプレゼンターとしてのご参加のお声掛けをさせていただきます場合がございます。

《プレゼンターとして申し込む場合》

ご応募いただいた提案内容をもとに、国土交通省にてピッチプレゼンターを選定させていただきます。選定にあたっては、本取り組みとの整合性や提案内容の具体性を総合的に確認いたします。プレゼンターに選定された場合は、後日株式会社三菱総合研究所よりご連絡し、当日の発表準備やタイムスケジュールについて詳細をご案内いたします。

なお、次に該当するものは主催者の判断により応募を除外させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

除外の対象となるケース

- 提案内容がプロジェクトの趣旨や目的と著しく乖離しているもの
- 他者の権利を侵害する恐れがある、または倫理的に問題がある内容が含まれるもの

お申し込みフォーム <https://forms.office.com/r/7CxYp4QMHN> (申込締切:令和7年1月6日)

本ピッチイベントの運営は株式会社三菱総合研究所に委託しております。

上記リンクからアクセスいただく申込フォームは、株式会社三菱総合研究所が準備した Forms に移行しますので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の取扱い】

個人情報の取扱いは、国土交通省の個人情報保護、株式会社三菱総合研究所の個人情報保護方針に従って対応いたします。

国土交通省「個人情報保護」※1 及び、株式会社三菱総合研究所「個人情報保護方針について」※2 をご覧ください。

※1 <https://www.mlit.go.jp/report/file000018.html>

※2 https://www.mri.co.jp/privacy_guide/privacy/index.html

ピッチイベントにご参加を希望される方は、以下にご同意いただいた上で、お申し込みくださいますようお願いいたします。

- (1) ご記入いただきました個人情報は、ピッチイベントの運営管理の目的に利用させていただきます。
- (2) ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理いたします。
- (3) ご記入いただきました個人情報は、今後の非常用設備の故障予兆検知・寿命予測 AI 開発促進に向けた取り組みに関する情報提供のため、国土交通省からメール等をお送りする際に使用場合があります。